

関係各位

産業競争力強化のための標準化人材教育パイロットプログラムについて

【経済産業省・日本規格協会委託事業】

我が国の標準化活動の基盤強化、戦略的な活動の拡充・強化のためには、「人材」の維持・確保が最大の課題です。昨年5月の日本産業標準調査会基本政策部会の報告書「日本型標準加速化モデル」においても、その重要性に言及されているところです。

経済産業省では、その重要性に鑑み、昨年来「標準化とアカデミアとの連携に関する検討会」を立ち上げ、人材の維持・確保にかかる様々な施策について検討してきました。

今般は、その一環として、筑波大学様及び長岡技術科学大学様のご協力を得て、下記のとおり「戦略人材育成パイロットプログラム」及び「専門人材育成パイロットプログラム」を実施することとしました。

プログラムの内容、申込方法等については、別添のそれぞれのフライヤーをご覧ください。関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

記

1. 戦略人材育成パイロットプログラム

- (1)実施内容…法的バックグラウンドの国際的な違い、国際地政学、エコシステムマネジメント、オープンイノベーション、サステナブル会計、オープン&クローズ戦略の理論と実践、国際競争力に関するテーマを取り上げ、産業競争力強化に資する国際標準を戦略的に活用できる人材育成のためのプログラム。完全対面形式を採用。
- (2)実施期間…2024年11月1日（金）～12月6日（金） 毎週金曜日 全6回
- (3)対象の方…CTO等企業内において戦略的な標準化に携わる可能性のある方
- (4)申込期間…2024年9月17日（火）～10月18日（金）

2. 専門人材育成パイロットプログラム

- (1)実施内容…国際的な視点でのスキルや知識を持つ人材を育て、世界的な標準（国際規格）を作成して、日本の製品や技術の評価を向上させる。オンライン学習形式を採用。
- (1)配信期間…2024年11月1日（金）～2025年1月31日（金） 全6回
- (2)対象の方…システム安全に関する業務に関わる方、関心のある方（大学院、大学、高等専学生含む）
- (4)申込期間…2024年10月中旬～

経済産業省・日本規格協会委託事業実施者

日本知財標準株式会社

info@ipstandard.jp

筑波大学ビジネスサイエンス系 産業競争力強化のための戦略人材(標準化人材) 教育パイロットプログラム



本プログラムの背景

日本企業が未来を切り開くためには、ものづくりだけではなく、新しい経営のツールとその背後にある考え方を理解し、実践することが不可欠です。本コースでは、「脱ものづくり」「ユーザー価値」「市場創造」「無形資産・知財」「ルール形成」「オープン&クローズ」「国際競争力」といった新しい経営戦略の特徴を学びます。

経営企画や技術企画のスタッフ、産業政策のプログラムマネージャーが戦略を考える上で重要なトピックを包括的にカバーし、俯瞰的な視点を持ちながら実践力を養います。この分野での初の試みとして、経済産業省の委託事業により、本年11月からパイロットプログラムを開始します。この貴重な機会にぜひご参加ください。未来を共に創りましょう！

プログラム概要

- 受講期間** 2024年11月1日(金)～12月6日(金)
毎週金曜日 18:20～21:00 (全6回)
第1回のみ講義の前に18:00からオリエンテーションを実施します。
- 受講場所** 筑波大学ビジネスサイエンス系(筑波大学東京キャンパス文京校舎)
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 丸ノ内線 茗荷谷駅下車、徒歩3分程度
- 受講対象者** 企業等において、これから戦略的な標準化に携わる可能性のある方、あるいは関心をお持ちの方(30名程度を予定)。
※本プログラムは「規格の作成」に関する内容は含んでおりません。
- 受講申込期間** 申込期間 2024年9月17日(火)～10月18日(金)
- 申込方法** 申込方法 メールにてお申込みください。メールタイトルは「教育パイロットプログラム 受講申込」とし、メール本文に①ご所属 ②氏名 ③メールアドレスを記載の上、【tts@tsukubats.co.jp】まで送信してください。
お問合せ メールにてお問合せください 【tts@tsukubats.co.jp】
※ 受講希望者多数の場合、ご希望に添えない場合があります。予めご了承下さい。
※ 本事業は、筑波大学の外部法人であるつくばツインスパーク株式会社が事務局業務を支援しています。
- 受講料その他** 受講料…無料
※ 本講座は経済産業省からの委託事業に基づき実施するため、アンケートにご協力いただければ幸いです。

本プログラムのガイダンス講座(説明会)

○本プログラムのガイダンス講座(説明会)をWebで配信いたします。

○日時… 2024年9月24日(火) 16:00～17:00

○説明者…立本教授等の本プログラムの講師

○以下のURLよりご参加ください。

<https://us02web.zoom.us/j/86752852961?pwd=YINMYSDuQ6Xkf6kxQKEcEnA9c0y3RV.1>

ミーティング ID: 867 5285 2961

パスコード: 093107



こちらのQRコードからも
アクセスできます



筑波大学
University of Tsukuba

【プログラム責任者ご挨拶】

新しい経営の必須知識を学ぶ絶好の機会！

本プログラムは、CTOや産業政策に携わるプロジェクトマネージャーの皆様に向けて、現代の新しい産業環境で重要となる視点や知識を提供します。法的バックグラウンドの国際的な違い、国際地政学、エコシステムマネジメント、オープンイノベーション、サステナブル会計、オープン＆クローズ戦略の理論と実践、国際競争力に関するテーマを取り上げます。

受講生が活動のきっかけを得ることができるよう、幅広い重要トピックを厳選しました。また、同じ関心を持つ参加者とのネットワーク構築がしやすい完全対面形式を採用しています。

是非ご参加ください！（筑波大学ビジネスサイエンス系教授・立本博文）

第1回 11/ 1 (金)

国際標準化戦略のための法知識

担当講師 木村真生子 筑波大学ビジネスサイエンス系教授

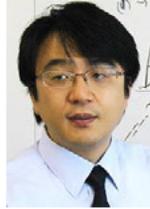


グローバル市場で標準化戦略を推進するためには関連する法分野の基礎知識が必要です。本講義では、国際的なルール作りが進む自動運転を例に挙げながら、日本の法規制や欧米の法規制との違い、法と任意規格の関係などについて考えていきます(木村)。また、国際標準化戦略に欠かせない地政学や経済安全保障(秋山肇・筑波大学社会科学系助教)。グローバル市場で繰り広げられてきた国際標準化の歴史(安達精司氏・元東証NY駐在員事務所長)についても考えていきたいと思ひます。

第2回 11/ 8 (金)

エコシステムマネジメントとオープンクローズ戦略

担当講師 立本博文 筑波大学ビジネスサイエンス系教授



複雑化した今日のビジネスでは、自社ですべての事を行うことは不可能です。デジタル技術に基づく業界では、複数企業が活動するエコシステムが形成されることが通常です。この状況下で、自社は何をやり、他社とは何を共有すればいいでしょうか。協同のためにはどのような体制を社内につくらなくてはならないでしょうか。業界に対してどのようなビジョンを広報していかなければならないでしょうか。本講義では戦略と組織の側面から、ルール形成、オープン＆クローズを考えていきたいと思ひます。

第3回 11/ 15(金)

企業の無形資産としての知財、標準化活動

担当講師 中村亮介 筑波大学ビジネスサイエンス系准教授



我が国企業は、国際市場で生き抜くために、企業会計等の国際的なコーポレートガバナンスへの取り組みを積極的に実施しています。一方で無形資産、即ち企業等における特許、ノウハウ等の知財、ルール形成(標準化)への取り組みは十分とは言えず、また取引先、投資機関の評価も同様です。本講義では、企業の会計監査、アドバイザーを経験されている公認会計士の方々(衣川清隆氏、河野和可子氏)も交えて、これら無形資産の社内での評価の在り方について考えていきたいと思ひます。

第4回 11/ 22(金)

知財・標準のオープン＆クローズ戦略

担当講師 藤田和子 瀧澤匡則 日本弁理士会 知財・標準化一体的活用検討WG 座長/副座長



情報技術等の進捗や社会情勢の変化に伴い、市場の拡大のツールとして標準を用いながら知財によって競争優位性を確立するオープン＆クローズ戦略では、標準と知財とを一体的に考えることが大変重要です。一方、産業分野ごとに考え方や扱いが異なっていることに留意することも必要です(例:標準必須特許等)。本講義では、知財の専門家である弁理士の方を講師として迎え、オープン＆クローズ戦略の基本的な考え方を踏まえて、事業戦略における知財と標準の関係についてご説明いただきます。

第5回 11/ 29(金)

オープン＆クローズ戦略のビジネス事例

担当講師 角崎健太郎 AGC株式会社 知的財産部 プロフェッショナル



ビジネスにおけるオープン＆クローズ戦略は、技術分野、業種、企業の規模によって様々です。何を目的(市場拡大等)として標準化を検討するのかを念頭におきつつ、自社の技術と他者のそれとの比較検討を踏まえたプランニングが不可欠です。また特許と異なって、規格はステークホルダーによる合意形成が必要ですから、まずはそれを念頭において社内検討が重要となります。本講義では、企業の担当の方を講師として迎えて、企業内での取り組み例をご紹介いただき、ケーススタディを行っていただきます

第6回 12/ 6(金)

標準形成プロセスと認証ビジネス

担当講師 糸久正人 法政大学社会学部教授



標準形成プロセスと認証ビジネスは、製品やサービスの安全性、品質、相互運用性、カーボンニュートラル等を確保し、企業が市場で成功するための重要な要素です。標準形成プロセスでは、国際機関やステークホルダーが協力して、技術的要件やガイドラインを策定します。認証ビジネスは、これらの標準規格に基づいて製品やサービスの信頼性を証明する役割を担い、その市場は拡大を続けています。これらのプロセスを理解し、適切に活用することが企業の競争力向上に不可欠です。本講義では、標準化戦略とイノベーションマネジメントを専門とする先生を講師として迎え、産業競争力向上に資する標準形成プロセスと認証ビジネスについて講義いただきます。

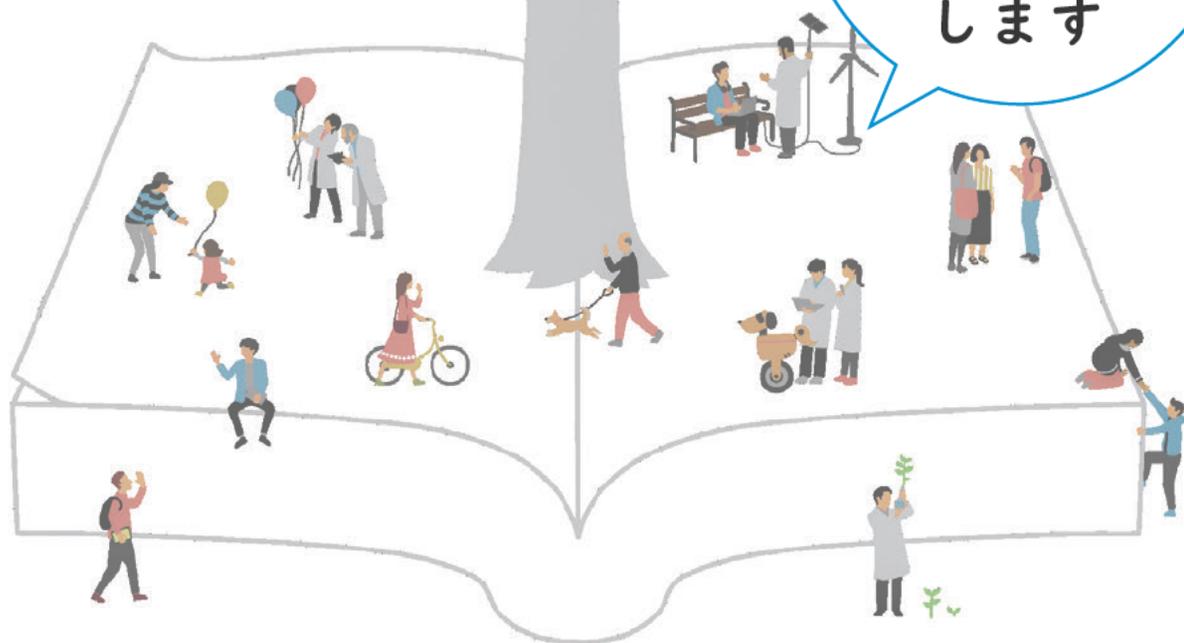
長岡技術科学大学

まなび スクエア

一般社団法人
技科大テックブリッジ

モニター募集中!

2024年11月11日から
システム安全
講義開講
します



まなびスクエアは、**広く一般**（社会人、学生等）に向けた新しい
学びのサイトとして本格的にスタートします。

今後、オンライン学習用動画コンテンツを充実させていきますので研修
やスキルアップなど、ぜひご利用ください。

経済産業省・JSA 委託事業

システム安全の基礎と国際規格講義 開講!

開講期間
(予定) **2024年 11/11 (月) ~ 1/31 (金) 2025年**

受講料
2024年度
無料

🔍 長岡技術科学大学 まなびスクエア



本事業はSDGsと
関連づいた事業です

システム安全の基礎と国際規格講義

受講モニター募集中！

経済産業省・JSA
委託事業

私たちは、日本のものづくりが国際的に評価されるために、国際標準化の人材育成が重要であると考えます。そのために国際的な視点でのスキルや知識を持つ人材を育て、世界的な標準（国際規格）を作成して、日本の製品や技術の評価を向上させることを目指しています。

そこで、国際標準化人材教育プログラムの一環として「システム安全」に関するオンライン学習用動画を長岡技術科学大学のまなびスクエアで開講することになりました。動画は全6回を計画中です。

ぜひ受講いただき、アンケートを通して皆様のご意見を伺いたいと考えています。

ご協力よろしくお願いたします。



システム安全を詳しく知りたい方は
長岡技術科学大学のYouTube
「長岡技術科学大学 令和6年度改組」
で紹介していますのでご覧ください。

開講期間 2024年11月11日（月）～2025年1月31日（金）

登録開始 2024年10月中旬～

費用 2024年度は受講料が**無料**です。

受講方法 長岡技術科学大学公式ホームページ「まなびスクエア」(<https://manabi-square.nagaokaut.ac.jp/>)等でお知らせする所定のご利用登録の手続きを行い、手続き後にオンライン学習用動画が視聴可能となります。期間中は何度も視聴することができます。

アンケート アンケート結果は今後制作する動画教材の企画や構成などのため参考にします。なお、アンケートの全集計結果をそのまま公表することはありませんが、長岡技術科学大学や技科大テックブリッジが公表する各種報告書等において、取り組みにおける実例としてアンケート結果を一部、使用することがあります。



経済産業省・JSA 委託事業

システム安全の基礎と国際規格講義（予定）

講師：長岡技術科学大学システム安全系の大学教員

No.	単元（予定）	公開日（予定）
第1回	システム安全と国際安全規格の基礎	2024年 11/11（月）
第2回	リスクアセスメントの考え方と実践例	
第3回	労働者の安全とウェルビーイング	2024年 11/18（月）
第4回	国際規格に沿った安全設計の基礎－機械安全編－	
第5回	国際規格に沿った安全設計の基礎－機能安全編－	2024年 11/25（月）
第6回	国際規格に沿った安全設計の基礎－医療安全編－	



まなびスクエア公式サイト画面



登録手続き後の画面

他のジャンルの動画コンテンツも充実！（2024年8月以降 順次開講中）

- 数理・データサイエンス・AIの6または7講義（全6～8回） ※毎月月上旬 | 講義公開予定
 - 統計と検定
 - 線形回帰による未来予測
 - 最適化手法とその応用
 - 主成分分析とその応用
 - 有限要素解析とデータ同化
 - 人工知能（AI）の基礎
- はじめてのダイバーシティの1講義（全10回） ※毎週金曜日 | 1回公開予定

まなびスクエアに関する問い合わせ先

長岡技術科学大学 学務課教務企画係 0258-47-9245 kyo-kikaku@jcom.nagaokaut.ac.jp